

事務事業名 地域子育て支援拠点（ひろば型）事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを産み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	1	地域での子育て支援
主要な施策	1	子育て支援センターの整備・充実
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 22 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てG
-----	-------	-------	------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	子育て中の家庭を対象に気軽に集い、語り合い、交流を図り育児相談などを行う場を提供することにより、育児支援することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	NPO法人登別自然活動支援組織ももモンガくらぶによる委託事業 富岸町内会の協力を得て『富久寿園』内で毎週火・木・土曜日開設 出張子育てひろば（市内の各地でひろばを開催）やママとパパのための勉強会の実施
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	効率的な予算執行と多彩な子育て支援の展開を促す。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	児童福祉法

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称 子育て支援対策交付金（H22まで次世代交付金）	千円	6,405	7,398	2,860	2,860	2,860
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円			4,538	4,538	4,538
事業費 合計			6,405	7,398	7,398	7,398	7,398

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	利用者数	人	目標値	2,400	2,800	2,800	2,800	2,800
			実績値	3,489	6,973			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>少子化等で核家族化が進行し、これに伴い保護者の育児力の低下が指摘され、相談相手がいないことにより保護者が孤立し、虐待へと繋がるケースも考えられた。</p>	<p>事業展開により左記現況の改善が図られている。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
1. 事務事業の妥当性について			
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<p>市が主体に行うべき事業である</p> <p>民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である</p> <p>国、道、他団体等との連携や広域化が可能である</p> <p>国、道、民間等の事業と重複・類似している</p>	<p>判断理由及びその他所見</p>	<p>本事業は、国の補助事業であり、子育て支援の施策には欠かせない。</p>
2. 事務事業の必要性について			
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<p>市民、団体等から具体的な要望がある</p> <p>市民アンケートの結果から必要性が高い</p> <p>社会情勢、地域事情等から必要性が高い</p> <p>市民の大部分が関連することから必要性が高い</p>	<p>判断理由及びその他所見</p>	<p>1日の利用定員の10組を上回る利用者数となっている。</p>
3. 事務事業の効率性について			
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<p>低予算、少労力で高い効果をあげている</p> <p>市で実施するほうが民間委託より効率性が高い</p> <p>多額の経費や労力を要するがやむを得ない</p> <p>将来的に効率性を向上できる</p>	<p>判断理由及びその他所見</p>	<p>開設当時より委託事業として展開しているためバランスの良い事業と考えられる。</p>
4. 事務事業の成果について			
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<p>成果指標の向上が見られる</p> <p>市民、団体等の声から成果を感じられる</p> <p>目に見える形で成果があがっている</p> <p>成果の把握は困難である</p>	<p>判断理由及びその他所見</p>	<p>相当数の利用数があり成果はあがっていると考える。</p>

担当グループによる評価		《Check》
維持	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p>	<p>市内における幼児を抱える世帯が最も多い地区であり、ニーズに答えるためにも本事業の継続は望ましいと考える。</p>

行政評価会議による評価		《Check》
維持	<p>備考</p>	